



「アットストリート」



「一店逸品運動お披露目会」

協同組合米沢市商店街連盟

- 所在地: 米沢市中央 ● TEL: 0238-21-5111 ● FAX: 0238-21-5116
- URL <http://www.yonezawa-shop.com/> ● 設立: 昭和52年12月 ● 出資金: 1,210千円
- 組合員数: 302名 ● 主な事業: ポイントカードの発行及びこれに関する事業等

昭和33年に前身となる米沢市商店街連合会(全市17地域商店街を集結)として発足し、昭和52年に協同組合米沢市商店街連盟に法人化した。

組合事業では、平成23年度より「まちなかゼミナール」を実施。この事業は、個店(店主やスタッフ)が講師となり受講者(お客)にプロならではの専門的な知識や情報、コツを教える少人数制のゼミで、お店とお客との信頼関係を築くことやコミュニケーションの場とすることを目的としている。初回は21店舗32講座、受講者130名の参加があり、第7回(平成26年10月開催)では34店舗50講座、受講者398名と年々増えている。内容は、「米沢織元の店織絵夢人館」では袖を通さなくなった着物のリフォームや保管、「えだまつ」では魚のおろし方・刺身の盛り付け方法、「丸正」では日やけに負けないマッサージュ方法などが開講された。イベントを通してお客との距離が近くなり、まちゼミをきっかけに買い物客として店を訪れる人も増加している。受講者の8割が女性で占めている。

また、平成25年より個店の存来店するきっかけを作り、ファンとして「一店逸品運動」を行って一店逸品運動を進めるにあたり新しいノウハウを学ぶため、セミ以上のペースで研究会を開催し、加者同士が率直に意見を交換された「逸品」を作り上げる。

平成26年7月2日、山形大学ま露目会を開催し、各個店からの験が行われ、関係団体や報道関係者に加え、市民ら約70名が参加し大盛況となった。お披露目会を機に「よねざわ逸品研究会」に組織名が決定した。



「まちなかゼミナール」

在・中身をお客に知ってもらい、やりピーターを増やすことを目標

いる。り、講師を招聘し事例の紹介や正ナーを開催。講師を交え、月一回各個店が出す試作品について参し、客観的に評価することで洗練

ちなかサテライトにおいて「お披露目プレゼンテーションや逸品の体

米沢市商店街連盟が企画・運営により、平成26年11月15日、様々な飲食店で食べ歩き飲み歩きを楽しむ「まちなかバル」を米沢市で初めて行った。前売チケットは、3,500円で販売。参加店は42店舗で、1店舗700円で食べ物と1ドリンクのバル特別セットメニューが出された。地元ミュージシャンによる演奏やラジオによる参加店の実況生中継が行われイベントを盛り上げた。イベント後1週間は、各店舗でチケット1枚600円の金券としてやタクシー・代行にも利用できる。

お店の中には数百人の利用がある店もあり大盛況となった。また、イベントを通して新たに組合へ加盟した飲食店もあった。

大学生に地元のお店を知って、買物をしてもらう機会として「アットストリート」とコラボレーションしている。

アットストリートは米沢市で活動するボランティアサークルで山形大学工学部生・米沢女子短期大学生・米沢栄養大学生が主体となり、商店街と学生をつなぎ役として、イベントの企画・運営を行っている。

活動理念は、学生が商店街を心の「よりどころ」と思えるような街づくり、学生が米沢を第2のホームと思えるような街づくりをする、大学を卒業した後も米沢にまた戻ってきたいと思えるような街づくりを掲げている。活動内容では、商店街の行うイベントへスタッフとしての参加、サークルの発行する情報誌やホームページでは商店街のイベント告知・個店の紹介等のPRを行っている。メンバーが各店にお願いして持ち寄った料理を500円で食べられる春のイベント「ワンコイン晚餐会」は、店主と学生の交流の場を通して、学生が個店を利用するきっかけづくりにもなっている。